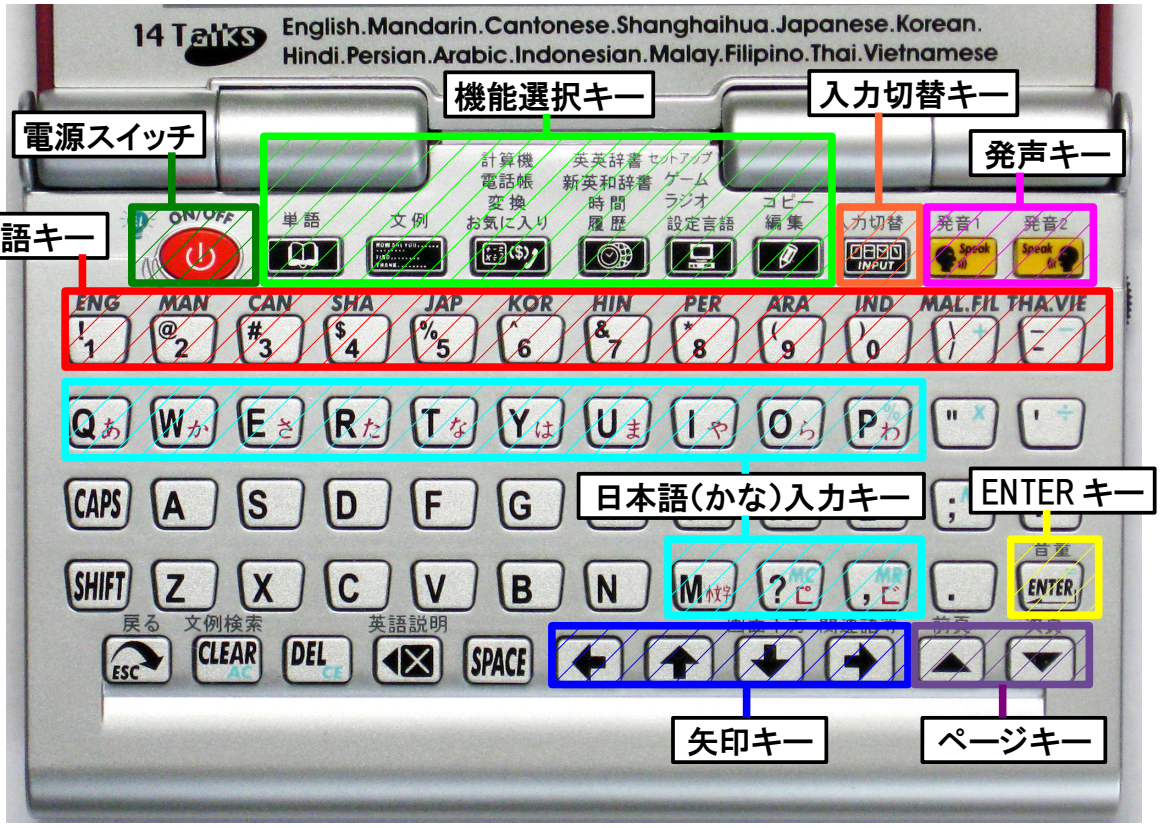
1. キーボードについて

【 International Ver.III GT-1400i 】

【 Asian Ver.III GT-1400a 】



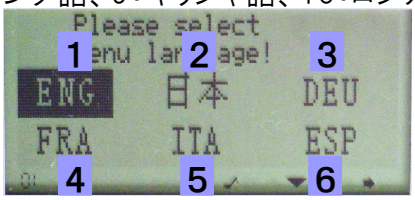
2. メニューに表示する言語の設定

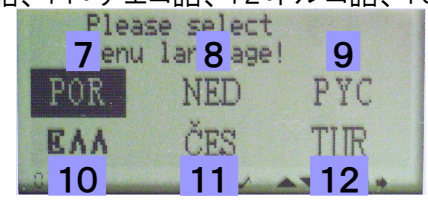
ご購入（またはリセット）後、最初に電源を入れるとメニューに表示する言語を設定する画面を表示します。[←][↑][↓][→][▲][▼]で言語を選択（反転表示）し、[ENTER]を押してメニュー画面に表示する言語を設定します。
設定言語を変更してメニュー画面が読めなくなってしまった場合など、使用中に変更したい場合は機能選択キー [📖] を数回押して設定画面を表示し、設定言語を変更します（取扱説明書 P.15）。

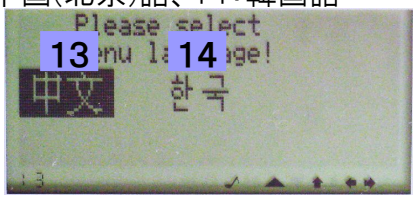
【 International Ver.III GT-1400i 】

[←][↑][↓][→][▲][▼]で「日本」を選択し、[ENTER]を押して、メニュー表示を日本語に設定します。
メニュー画面の表示は収録している14ヶ国語から自由に選択することができますので、収録している言語を母国語とする外国の方が使用する場合も便利にご使用いただけます。

1：英語、2：日本語、3：ドイツ語、4：フランス語、5：イタリア語、6：スペイン語、7：ポルトガル語、8：オランダ語、9：ギリシャ語、10：ロシア語、11：チェコ語、12：トルコ語、13：中国(北京)語、14：韓国語

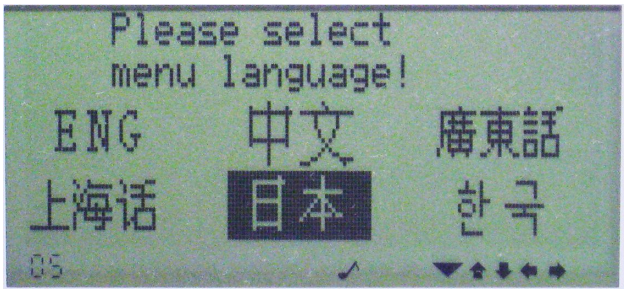




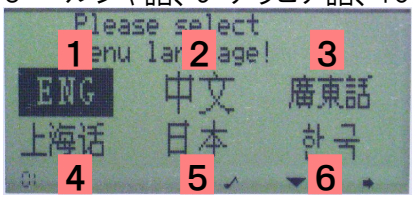


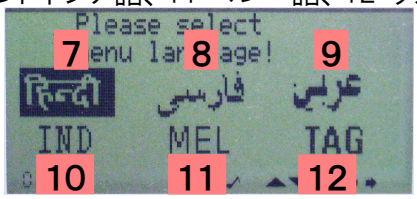
【 Asian Ver.III GT-1400a 】

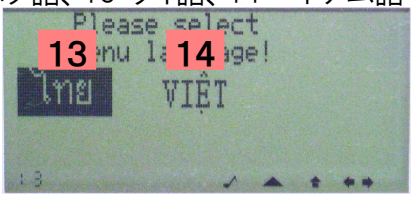
[←][↑][↓][→][▲][▼]で「日本」を選択し、[ENTER]を押して、メニュー表示を日本語に設定します。
メニュー画面の表示は収録している14ヶ国語から自由に選択することができますので、収録している言語を母国語とする外国の方が使用する場合も便利にご使用いただけます。



1：英語、2：中国(北京)語、3：中国(広東)語、4：中国(上海)語、5：日本語、6：韓国語、7：ヒンディー語、8：ペルシャ語、9：アラビア語、10：インドネシア語、11：マレー語、12：タガログ語、13：タイ語、14：ベトナム語

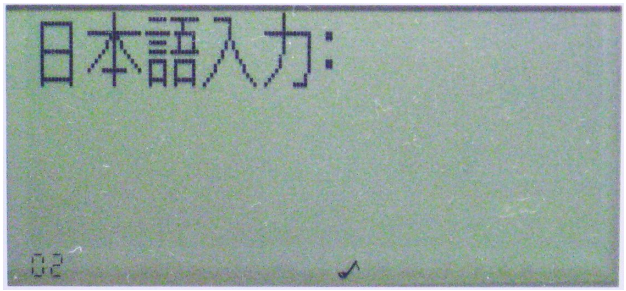




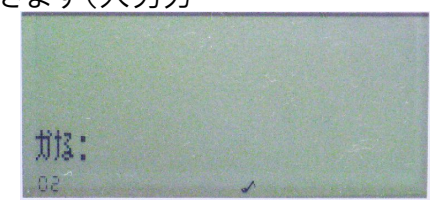


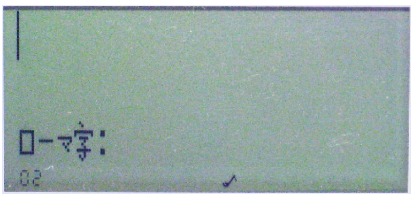
3. 単語を入力して検索する

電源を入れ、機能選択キー（単語）[📖] を押すと、日本語入力モードになります。
日本語入力モードの初期状態は常に「かな入力（携帯電話式あかさたな）」で日本語入力キーを使用してかな文字を入力します。
例：「く」を入力するには「か」を3回押します。



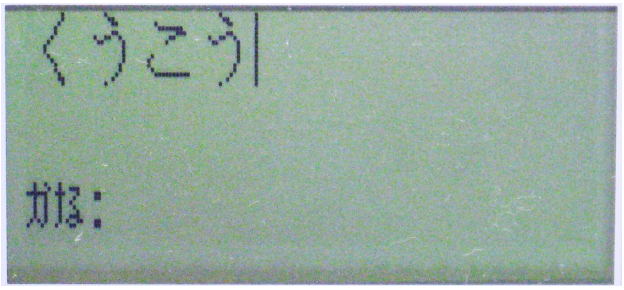
入力切替キー [ｱｲｳｴｵ EUROPEAN] を押すと日本語入力方式を「ローマ字入力」に変更することができます（入力方式は画面に表示されます）。
「ローマ字入力」ではアルファベットキーで日本語のローマ字表記を入力します。





例:「くうこう」を検索する

「くうこう」と入力して ENTER を押すと「記録あり:5」と表示した後、翻訳を表示します。



翻訳先の言語は前回使用時の翻訳先言語を保持していますが、言語キーを押して翻訳先言語を選択すると瞬時にその言語の翻訳を表示します。

右の画面はGT-1400iで前回使用時に中国語(北京)語の翻訳を表示した場合の例です。

GT-1400iの言語キー

ENG 1	JAP 2	GER 3	FRE 4	ITA 5	SPA 6	POR 7	DUT 8	RUS 9	GRK 0	CZE/TUR +	CHI/KOR -
英語	日本語	ドイツ語	フランス語	イタリア語	スペイン語	ポルトガル語	オランダ語	ロシア語	ギリシャ語	チェコ語/トルコ語	中国語/韓国語

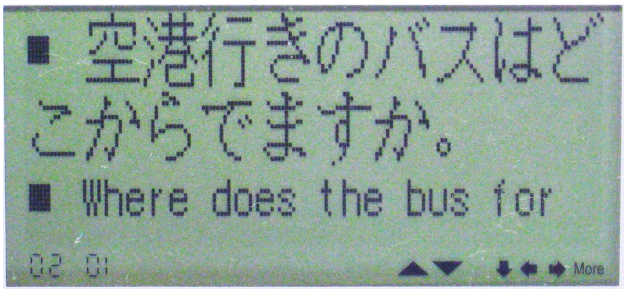
GT-1400aの言語キー

ENG 1	MAN 2	CAN 3	SHA 4	JAP 5	KOR 6	HIN 7	PER 8	ARA 9	IND 0	MAL.FIL +	THA.VIE -
英語	北京語	広東語	上海語	日本語	韓国語	ﾋﾝﾃﾞｨｰ語	ペルシャ語	アラビア語	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ語	マレー語/タガログ語(Filipino)	タイ語/ベトナム語

例では言語キー ENG 1 を押して英語の翻訳を表示しています。
「記録あり:5」の表示は「空港」の翻訳、または「空港」を含む文例が全部で5つ検索されたことを意味し、画面右下に「More」と表示します。

◀ ▶ を押すと検索順に翻訳と文例を表示し、▲ ▼ で「空港」の50音順前後に収録した翻訳を表示します。

例では「空港行きのバスはどこから出ますか」、「空港で買い物はできますか」等を検索しています。
翻訳が1画面に表示しきれない場合は ▲ ▼ でスクロール表示します。



中国語等、非アルファベット言語の翻訳を表示するとアルファベットの発音表記も併せて表示します。
ただし、メニュー表示に設定した言語のアルファベット表記は表示しません(メニュー表示が日本語の場合、他の言語から日本語に翻訳しても日本語のローマ字表記は表示しません)。

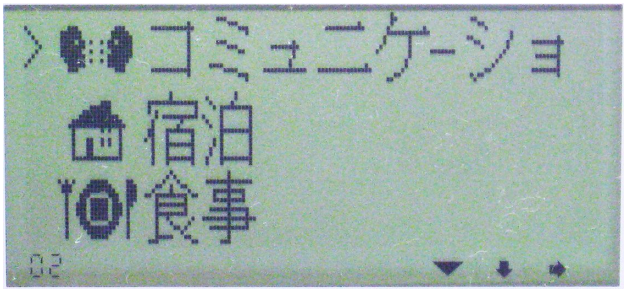
途中で操作を間違えた場合は、戻る ESC を押すとひとつ前の操作に戻ることができます。

翻訳を表示した状態で、発声・音量調節・「お気に入り」への登録を行うことができます。

- 発声1キー Speak : 翻訳元の言語で発声します。
- 発声2キー Speak : 翻訳先の言語で発生します。
- ENTER キー ENTER : 発声音量設定モードになります(矢印キーで音量調節)。
- 機能選択キー : 表示している翻訳を「お気に入り」に登録します。

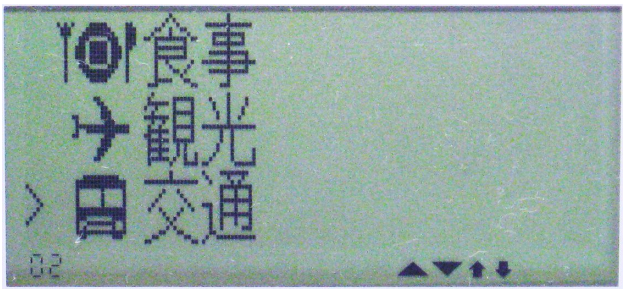
4. カテゴリーから文例を検索する

電源を入れ、機能選択キー(文例) を押すと、カテゴリー検索モードになります。
▲ ▼ と ▲ ▼ で、場面別のメインカテゴリーとサブカテゴリーを選択して収録された文例を検索します。

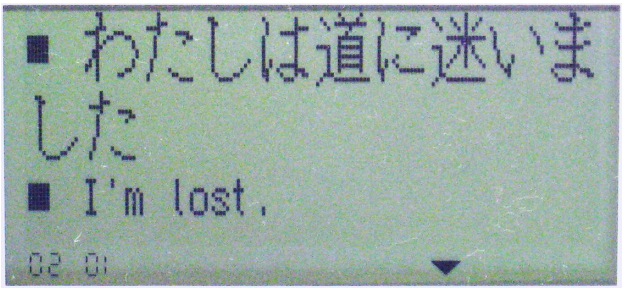


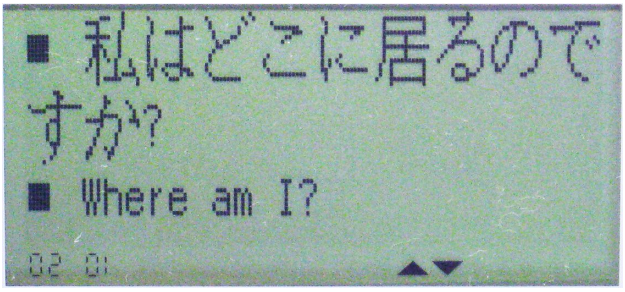
例：街中で道に迷った場合の文例を検索します。

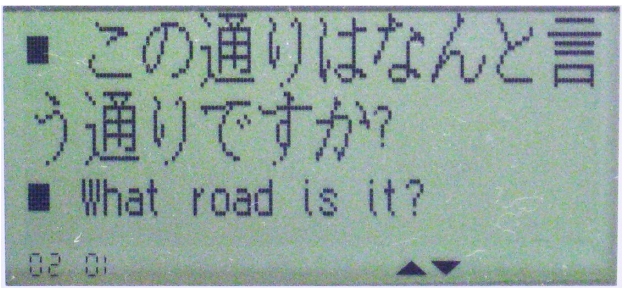
メインカテゴリー「交通」を選択し、サブカテゴリー「道を尋ねる」を選択します。



▲▼を押すと、収録順に文例とその翻訳を表示します。 例では「私は道に迷いました」、「私はどこにいるのですか？」、「この通りはなんという通りですか」を表示しています。







中国語等、非アルファベット言語の翻訳を表示するとアルファベットの発音表記も併せて表示します。
ただし、メニュー表示に設定した言語のアルファベット表記は表示しません。

1画面に表示しきれない文例は▲▼でスクロール表示します。
表示している翻訳は、前項の「単語を入力して検索する」と同様に翻訳を発声・音量調節・「お気に入り」への登録を行うことができます。

翻訳機には収録している全文例（日本語のみ）を印刷した文例集が付属しています。これを参照し、ご旅行やご出張の前に必要になりそうな文例を選択して「お気に入り」に登録しておくと便利です。

5. 英英辞書・英和辞書

・英英辞書：オックスフォード英英辞書　THE NEW OXFORD AMERICAN DICTIONARY
・英和辞書：旺文社新英和中辞典

機能選択キー を数回押し、各辞書モードにして検索する英単語を入力します。
どちらの辞書も見出し語（英単語）のみ音声を収録しています（文例や日本語は発声しません）。